

「中心市街地地区復興まちづくり事業に関する説明会（山田川を含む）及び
紺屋町被災市街地復興土地区画整理事業の用地先行買収に関する説明会」
における主なご意見・ご質問

一般参加人数：19名

開催日時： 令和4年8月20日（土）18：00～（2回目）

会 場： 人吉市役所新庁舎2階大会議室

① 中心市街地地区復興まちづくり事業に関する説明会

	ご意見・ご質問	回答（担当所管）
1	また水害が来るのではないかということに対して何も対策がない。山田川をきれいにしても何もならない。球磨川の土砂を取らないと、今まで見たことがない雨量が降れば、また浸水する。球磨川に国・県・市でどれくらい予算をかけるのかを公表して、皆が安心できるようにして復興計画に載せていかないといけない。これは自然災害ではなく人災である。しないといけないことをしていない。何よりも、それが先だと思う。	河川に堆積した土砂は、河川整備とは別に適宜土砂撤去をしていきたい。（県）
2	復興計画を見ると、「店舗」のことは何も言っていない。西九日町は商店街であり、店舗で商売する方の復興をどう考えているのか。	空き店舗や空地が多いことは課題と認識している。ハード整備は、時間がかかるので、その計画を速やかに固めながら、ソフト対策についてまちづくり活動やまちづくりルール等で議論し、どのようなお皿の上でどのようなまちづくりができるか、経済部とも連携しながら、皆様と議論していきたい。（市）
3	2年前にあれだけ水が出た原因がわからない。まずは、これを追求して解決すれば、災害に強いまちづくりについて、スムーズに住民も聞けるのではないかと思う。山田川の道路を拡張して高くすれば、水が出たときはまちなかに流れてくる。それを踏まえて、溝の整備がどこまで考えられているのかが出てこない。そちらの整備から力を入れてもらいたい。そうすると、少しは住民も安心すると思うのでよろしくお願いしたい。	原因については国・県で検討されており、河川整備計画上で究明しながら進めているものと思う。内水対策については、区画整理事業区域だけではなく全体として検討を進めている。今から設計にも入るので、具体的対策には至っていない。区画整理事業やまちづくりを進める中で、内水対策をきちんと検討を進めていきたい。（市）

	ご意見・ご質問	回答（担当所管）
4	復興で一番大切なものは、今回の水害、洪水がどこでどのように氾濫したかを克明に出すことが大事。その話が抜けていることは大きな問題である。山田川は、昔は右岸、左岸平等に流れていたが、いつのまにか右岸側に集中して流れるようになっている。川の流れも九日町周りに集まるような流れ方で、非常に危険な流れである。 また、昭和３５年から４０年くらいに山田川の線路から上は、川幅を広げて連続堤防で溢れない川にした。このときに鬼木川の流れも変えている。同時に、市街地に入ると川は昔より狭くなっており、非常に危険な川のつくりにしてしまっており、紺屋町が常襲地帯になっている。山田川の川幅を測ると、上流に比べて線路を超えた途端に約６割減り、溢れて当たり前の川になっている。川そのものに大きな問題がある。この問題を抜きにしてダムで解決すると大嘘をつかないでほしい。国や県はバックウォーターなので合流点から上に溢れてくるとの説明をしているが、我々がつかんでいる写真は逆である。市街地に入って上から溢れ、下に移っていく。川のつくりには大きな問題がある。こういう問題を提示しないで、道路や公園を作れば良いとかいう話ではない。もっと真剣にそこを考えてもらいたい。 紺屋町、九日町を標高に沿って歩くと複雑な地形であり、ある場所で危険な流れをつくる。そこを歩いている人は命を落とすことになる。そのようなきめ細やかな資料を提示した上で、まちをどうしたらよいか議論をしないと、本当の復興の話にはならない。初めから道路ありきの開発ではない。時間はかかるけども丁寧な資料を作り、整理して検討してもらいたいことを要望したい。	要望として受け止めさせていただく。（県）

	ご意見・ご質問	回答（担当所管）
5	「窪地」と言われるが、出町橋が高くなったことで、土地が低くなっている。泉田川に向かって少し勾配はついているが、街区の北側、東側、横西町の向こう側もほぼ平地である。それを窪地と称して嵩上げをするのは、道の反対側の横西町、紺屋町通りの皆さんに大変不公平、不利益な計画ではないか。また、嵩上げをすると横西町や紺屋町通りが谷になるが、谷になる皆様のご意見はどうなのか。不利益を被るかもしれない計画に住民がどれほど賛同しているかわからない。浸水時間が長かったのは、堤防が破損し泉田川から山田川に出るところが詰まり、排水設備が機能しなかったからである。これまで水が出ても排水設備が稼働することで、水害にならずにきている。そのようなことも考えて検討すべきではないか。この件については、県や市にも意見書が提出されてあるはずである。県も市はご覧いただいているのか。	現状新温泉を中心に低いところがある。現状国道側から約2mの高低差がある。内水対策については、土地区画整理事業区域やその周辺を含めて排水を検討させていただき、今後設計の中で見ていく。意見書については確認している。（市）
6	国道445号の南側に家があり、まちづくりの区域に入っていない。なぜ区域に入らないのか。道路の両側にお店があって商店街だと思うが、国道445号の北側ばかりで説明会の案内すら来なかったことに不満がある。 2mの高低差があるとのことだが、西九日町の札の辻の交差点から横西町を抜けて、街区の東側から新温泉付近に行くときに2mの高低差はなく、ほとんど平地である。出町橋の架け替えで、相対的に新温泉が低くなったように見えるが、大橋の架け替えで付近の建物が橋の下になったのと同じである。	現況の朝日生命西側の高さ和新温泉付近の高さの差がそのくらいあることを説明した。 「窪地」という表現が不適切かもしれないが、堤防強化に合わせて低いところを上げ、宅地の有効活用を図ることを考えている。鶯温泉街区ではフラットになるような高さで考えており、全体を上げるのではなく、部分的にかつ段階的に、他の宅地に影響がないように、ある程度有効活用できるような形で考えていきたい。（市）

	ご意見・ご質問	回答（担当所管）
7	土地区画整理事業区域の中で、すでに新築している方やリフォームして営業している人がいる。自分の家の前は新築されているが、新築の方の家にまで影響があるということか。	詳細な設計に入っていないので、今後の協議会の中で話をするとともに、事業計画を詰めていく中で、どのご自宅が支障になるのか総合的に検討させていただき、建物の移転などについて個別に相談させていただきたい。新築の家についても、できるだけ、皆さんの支障のないようにしたいが、公共施設を入れた方が宅地の有効活用につながる場合には、ご相談をしながら補償の調査をさせていただき、撤去もしくは曳家をお願いさせていただきたいと考えている。（市）
8	土地の図面だけを示されて、いかがでしょうと言われてもお答えできない。私も高齢者なので、いつになるかわからない話をいつまでもこのような状態にいるわけにもいかない。町内も高齢の人が多く、東北のニュースで、立派な嵩上げ地ができたが、移転している間に、そこで仕事や人間関係ができて、帰ってくる人が少ないというニュースを見たことがある。そのようになるのかもしれないという危惧もある。	今年度中にあらかたの計画を立て、来年から土地の測量や地質調査をして、来年度の頭から入らせていただけるように、スピード感をもって進めたい。今年度末には、事業計画の認可をいただけるように取りまとめたい。その後、詳細な設計になり、個別に宅地の相談など具体的にお示しできるようになると思う。（市）
9	県の河川整備計画を進めていくことについては、具体的に何月にどうするといったことはないのか。去年から道路を作るよりも、まずは河川の浚渫工事をしてほしいということを何度も言った。 家は、鉄骨で壊れはしなかったが、内側はひどい状況である。表だけお店にして仮店舗で営業しており、3階の水が入らなかったところで自宅避難生活をしている。道路を作る、避難場所を確保するより、川の浚渫を先にしないと、解体した人も戻ってこない。広い道路を作る、堤防の幅を広げるとなると、城下町の私たちのまちではなくなってしまう。広い道路ができると、人との交流がなくなる。道路や公園をつくるよりも、人が安心して暮らせるまちをつくってほしい。	令和2年7月から2年経過しているが、河川の整備の姿が見えてこないのは、お住まいの方にはご不安なことだと思う。整備の計画について、皆さまのお住まいや店舗を再建するために安全安心が大事ということはわかっている。そのためにも、どのような川の整備が必要か方向性を決めなければいけない、ということで河川整備計画を作っており、それを先週策定した。これに基づき、これから具体的に山田川をどうするか進めていき、1日も早く事業に着手したい。山田川については、本日説明した測量を実施し、具体的に川の断面をどうするか、高さをどうかの設計に入り、今年度末にかけて、まちづくり協議会で議論させてもらいたい。それに基づき、用地の交渉等もあるが、換地が進めば、川の整備、具体的な工事に着手したい。（県）

	ご意見・ご質問	回答（担当所管）
10	球磨川はどうなるのか。	国がこれから事業着手する。整備計画を作り工事が進んで目標に達するまでには時間がかかる。そこ数年でできるものではない。その間は、施設整備ができるたびに少しずつ治水安全度は上がるが、令和2年7月豪雨に対して浸水被害が起きないようにするのは、整備が出揃ってからになる。それまではいくらか浸水の恐れがある。何度も逃げるとなると生活ができないというのはその通りだが、命を守るためには、ソフト対策も兼ね合わせて、皆さまとどのように命を守るか、話をしていきたい。河川の整備については、1日も早くというのは重々頭に入れており、国も一体になって進めていきたい。（県）
11	国道445号の南側は、なぜ被災市街地復興推進地域から外されたのか。 堤防を越えて球磨川から水が来たにも関わらず、なぜ被災市街地復興推進地域に入っていないのか納得いかない。何を基準に作られているのかわからない。 資料にはプロムナードといった夢のようなことは書かれているか、一切話はないし、誰かが訪ねてきたこともない。	被災市街地復興推進地域は、公共施設等を配置しなければ再建が難しい地域を指定している。2年間建築制限をかけてしまう地域になるので、最低限に絞って指定した。南側のエリアは、個別には再建が難しいところもあるかもしれないが、地域として2年間制限をかけるまでには至らない地域として区域から外した。制限が入ったからといって特別に何かあるわけではなく、計画を立てるために2年間お時間をいただいた。エリアに入っているかどうかで、市が差別的な取り扱いをする訳ではない。（市）
12	まちなみは、道路の両側あればこそまちなみである。片側だけをどんなに飾ったとしてもまちなみではない。復興という以上は、まちなみとして整えるべく配慮すべきではないか。	賑わいやまちなみについては、被災市街地復興推進地域の区域を超えて復興まちづくり推進協議会の中で議論していきたい。（市）
13	資料2頁に住民の意向を十分に把握するとともにと書かれているが、住民が主体であり、住民の意向を反映させると書かなければおかしい。いつの間にか、住民が外に置かれて、行政が独り歩きしている。住民を主体として考えてもらいたい。それがないと前に進まない。もっと住民の考え方を大切にする姿勢を取ってもらいたい。	了解した。

	ご意見・ご質問	回答（担当所管）
14	委員に入っていない人たちのことを考えれば、推進委員会の内容を十分に説明してもらいたい。 青井地区で協議会のメリットは出ているのか。	青井地区で推進協議会を先行しているが、会議のメンバーは限られており、議論したものを地域の皆様にお伝えをし、意見を吸い上げて計画を良くしていきたいと相談を受けている。議論の内容については、ホームページでの公開など住民の方々に周知するが、ある程度の段階で住民の皆さんにお示しして意見をいただく会を設けたいと考えている。（市） まちなみの風景や電線地中化に対する話や、まちの歴史に関する話を反映しながら進めており、活発なご意見をいただいている。（市）
15	青井地区では、14mの道路ができることはまとまっているのか。 あたかも推進協議会で決まったというようにはならないようにしてほしい。	ご提案しながら議論をいただくようにしている。議論の内容をお伝えして、またご意見をいただきながら、計画をしていきたい。（市）
16	学識経験者の大学の先生は、現場はよく知っている方か。	色々な現場のまちづくりの経験や知識のある方で、益城でもご経験されている方々である。震災の後どうしていくか、景観、まちなみをどうしていくか、まちづくりのルールを決める際にも、そのような知見をお持ちの方にアドバイスをいただきたいと考えている。（市）
17	推進協議会のメンバーは、公にされるのか。	立ち上げる際に、皆さんに公表する。（市）
18	中心市街地のことをよく知っている、また本気で考える学者を用意してほしい。委員は既に決まっているのか。	青井と連携を深めながら、候補は市のほうで決め、進めさせていただきたい。（市）
19	誰が住むまちなのか、誰が生業をするまちかといったら、ここに来ている人たちである。専門部会は誰でも入れるようにしてほしい。よそからきた人が、結論ありきでやってもらっては困る。素案は住民の中から出すべき。市で出すのはおかしい。	たたきが必要なので、それを出して議論いただく。（市）
20	たたき台も住民から挙がってきて、皆の意見が出てこないといけない。審議会で勝手に決められるのではないかと信頼できない。	中心市街地では、土地地区画整理区域のところは全体の約6分の1であり、それ以外の方が多い状況を踏まえて工夫しながら協議会の運営をしていきたい。商売をされている方が多いので、経済部を含めて進めていければと思う。（市）

	ご意見・ご質問	回答（担当所管）
21	山田川沿いでお店を経営している。裏に駐車場を設けているが、嵩上げした後に、どのように車庫入れしたらよいのか。また、水害がまた来た場合に、水が川のほうに戻り、嵩上げしたことで上手に泥がはけていかないのではという心配もある。9月の協議会までに、嵩上げした状態と駐車場がどのような高低差になるのか、イメージを作って説明してもらいたい。	詳細な測量に入らないとお示しできないので、9月までには難しい。皆さんがわかりやすい形でお示ししたい。まずは、1回訪問させていただき、ご懸念の点などを伺いたい。（市）

②紺屋町被災市街地復興土地区画整理事業の用地先行買収に関する説明会

	ご意見・ご質問	回答（担当所管）
1	減歩について、詳しく説明してほしい。	資料3頁に整備前、整備後とあるが、Cさんの土地を先行買収することで、道路や公園に充てる。それ以外の方は先行買収の希望がない場合には、それぞれ土地を提供いただくことで、区画整理を進める。そのかわり、土地を整形してお返しする。同時に道路や公園などの公共施設を整備することで、良好な市街地環境にするものが減歩と換地の関係である。（市）
2	資料5頁、用地先行買収について、今回は事業区域内の公共用地が少なく、皆様から土地を提供いただく減歩だけでは公共用地が不足するため先行買収を行うとあるが、道路をつくることは決まっているのか。	最終的には事業認可で決定するが、道路や河川に必要な面積を概算で算出している。今ある道路等の面積との差が非常にあり、公共用地が不足するので先行買収を考えている。（市）
3	道路をつくらなければ先行買収は不要ではないのか。先ほどの説明では、案はお示しするが決まったものではないとのことであり、矛盾していないか。	狭隘な道路や無接道により建築確認が取れない土地もある。そのような土地の接道を取るためには、道路を入れていくということで、矢印でお示ししていたところを概略で面積をはじいている。（市）
4	ここだけ無接道のところに道路を作るという説明はおかしいと思う。 6m道路の計画は推し進めるのか。今から皆さんに推進協議会で考えてくださいというが、決まっているのか。復興会議の中で、道路ができれば良いという人は1人もいなかったと思う。住民の希望と乖離しているのではないか。	1.2ha以外の地域については、調査が不十分なところはあるかもしれないが、紺屋町地内第1号線のところに無接道宅地があり、狭隘道路を拡幅することで解消すると考えている。（市）
5	どう復興するのか住民との話し合いがついておらず、計画も何も立っていない中で、なぜ先行買収をするのか。一度棚上げし、どういう街づくりをするかを決めるのが先ではないか。決まらないうちに、買い取りを先に進めるのはありえない。	これまでの個別訪問の中で、区画整理事業に約8割の方に賛成をいただいた。既に用地を売りたい人もいる。事業については、協議会で議論させていただき、住民の方のご意見を伺いながら最終的に固めていく。計画は決まっているということではなく、概略で進めている。事業を先に進めたいという趣旨である。ご理解いただきたい。（市）

	ご意見・ご質問	回答（市）
6	事業への賛成が8割という説明があったが、1.2haにお住まいの方の8割ということか。	そのとおりである。（市）
7	事業の内容が決まらないうちにとったアンケートで、事業に賛成反対を決めるのはおかしい。恣意的ではないか。	5月に権利者を1軒1軒回らせてもらった中で、権利者の約8割の方が、推進することに賛成していただいている。（市）
8	どこの土地を売りたいといった話が出ているのか。それは公開してもらえるのか。	個人情報に関わるのでお伝えできない。登記簿は公開されているので確認いただくことはできると思うが、個人の意思を公開することはできない。（市）
9	以前、鶯温泉街区にある土地を市から買い上げたいという相談を受け、協力はしないといけなかった。交流・文化の場の区域になるのかと思っていたが、今後の整備事業として鶯温泉の周辺は、どうなるのか。	売却意向の別途確認している。皆さまから複合施設のご提案や、我々も公園等を整備する必要があると考えており、まちづくり協議会でも議論しながら、必要な公共施設を配置していきたいと考えている。区画整理という手法は使わないが、他の事業で、同意を得ながら進められるようにしたい。（市）
10	自動車が入らないので前の土地を扱いたいと考えていたが、買い上げられて壊されるのであれば、活用しないほうがましだと思っている。	早めに計画を固めて皆さんにご提示したいと考えている。